

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療整備課
 担当名: 総務・医療企画担当
 内線: 3535 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B20	回復期病床整備促進事業		一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	地域保健医療計画推進費	
事業期間	根拠法令			戦略項目				
				分野施策				
1 事業の概要 2025年までに本県の75歳以上人口は1.5倍となり、医療ニーズの増大、変化への対応が課題となっている。埼玉県地域医療構想では、2025年の必要病床数の推計で、地域包括ケア病床等の回復期病床が大幅に不足すると推計しており、急性期を経過した患者の受け入れや自宅等からの緊急時の受け入れ、在宅・生活復帰支援などの機能を持つ地域包括ケア病床等の確保が課題となっている。 2025年に向けて、医療機関の自主的な病床機能転換の取組みを支援、促進し、病床の機能分化、連携を図っていく。 (1) 回復期病床整備促進事業 △296,595千円 事業の執行が当初見込みを下回ったことによる減額			5 事業説明 (1) 事業内容 回復期病床整備促進事業 539,760千円 急性期病床及び療養病床から回復期病床(回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床)への転換を行う医療機関に対して施設整備費及び設備整備費に関する助成を行う。 ア 施設整備費 回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病棟として必要な新築、増改築及び改修に要する工事費又は工事請負費(病室、診察室、処置室、浴室、廊下、便所、暖冷房、附属設備等) 補助金額 新築・増改築 転換病床1床あたり4,313千円(補助率1/2) 改修 転換病床1床あたり3,333千円(補助率1/2) イ 設備整備費 回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病棟として必要な医療機器等の備品購入費 補助金額 1施設あたり10,800千円(補助率1/2) (2) 事業計画 平成28年度 急性期病床又は療養病床から回復期病床への転換 240床 平成29年度～ 急性期病床又は療養病床から回復期病床への転換を促進 (3) 事業効果 回復期病床(回復期リハビリテーション病床及び地域包括病床)への転換が進み、地域医療構想の実現が促進される。 (4) 補正予算の概要 事業の執行が当初見込みを下回ったことによる減額					
2 事業主体及び負担区分 (県1/2) 事業者1/2								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳						
		繰入金					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△296,595	△296,595					0	243,165
現計額	539,760	539,760					0	